

報道関係者 各位

令和7年10月3日

【照会先】健康・生活衛生局

感染症対策部感染症対策課

感染症情報管理室長 大塚 和子（内線2389）

課長 補佐 小谷 聡司（内線2373）

（代表電話）03(5253)1111

（直通電話）03(3595)2257

*報道関係者以外の方は、下記の窓口にて承ります。

感染症・予防接種相談窓口

（電話番号）0120-995-956（9:00～17:00）

インフルエンザの発生状況をお知らせいたします

令和7年第39週（令和7年9月22日から令和7年9月28日まで）分のインフルエンザの発生状況を、別紙のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

なお、今回は、定点当たり報告数が流行開始の目安である 1.00 を上回り、流行シーズン入りしました（別添参照）。

令和7年第40週（令和7年9月29日から令和7年10月5日まで）分については、令和7年10月10日（金）公表予定です。



=====
今年もインフルエンザが流行シーズン入り
定点あたり報告数が1.04に
=====



令和7年第39週（9月22日～9月28日）の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたり報告数が1.04（定点数／全国に約3,000か所、報告数／4,030）となりました。流行開始の目安としている1.00を上回ったことから、今年もインフルエンザが流行シーズンに入ったと考えられます。

■**予防対策について**

インフルエンザの流行入りを機に、厚生労働省では以下の予防対策を改めて国民に周知してまいります。報道機関の皆様方にも周知への御協力をお願いいたします。

【基本的な感染対策】

インフルエンザをはじめとする感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳（せき）エチケット」などが有効です。

特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。高齢者と会ったり、通院や大人数が集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策へのご協力をお願いします。

【マスクの着用が効果的な場面】

高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関を受診する時や、高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時等は、マスクの着用を推奨します。

そのほか、インフルエンザの流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的です。

【予防接種】

インフルエンザワクチンには、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があるとされており、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。

なお、定期の予防接種の対象となる方は以下の通りです。

- ① 65歳以上の方
- ② 60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）により免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方
これらの方々は、定期の予防接種として1回のインフルエンザHAワクチン接種を受けることが可能です。

また、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同日に接種することが可能です。新型コロナワクチンの接種と合わせて接種をご検討ください。

インフルエンザなどの感染症に関する**感染症・予防接種相談窓口**を開設していますので、ご活用ください。※令和7年4月1日から電話番号が変わりました。

電話番号／0120-995-956

受付日時／9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始除く）